

授業科目名		建学の精神				科目コード		N12101	
担当者		古澤 敏昭 / 看護教員 / 和田 宗汎 / 近藤 貞子				履修区分		必修	
開講年次		1 年	開講期	前期	授業回数	15 回	単位数		2
授業の概要・到達目標									
(概要)									
[古澤 敏昭(8 回)] 「心技一体」とは、知識及び技術・技能は勿論、精神的にも豊かで健全なる身体を備え、心・技・体が一体となって成長することにより、三位渾然とした幅広い知識と能力、博愛精神・人間愛に満ちた慈愛を持ち、協力し創造する喜びと感動を求めて努力を惜しまない人材となりうることを学ぶ。									
[看護教員(3 回)] 建学の精神の「心技一体」にもづく、本学健康科学部看護学科における望ましい人材育成について学ぶ。									
[和田 宗汎(4 回)〈茶道〉] 誰でも持っている優しい心づかい、感動する心、そうした心をより豊かに育み、人間としての感性を大切に自分を高めていくことを目的として、広島で四百年近くその道統が守り伝えられている上田宗箇流茶道を通じて、茶の湯の心の在り方、その作法を学ぶ。									
[近藤 貞子(4 回)〈華道〉] 伝統文化として代々受け継がれてきた華道を通して、自然の中で育まれている植物を観察し出生を知り、歴代宗匠の教の中から和の精神を学ぶ。									
※茶道(定員 30 名)・華道は選択制となります。									
(到達目標)									
より良い技術とは技術力のみではなく、それを用いる人とその健康な体が調和されて社会にとって貢献しうる技術となることを体系的に理解し、説明することができる。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
各教員によって授業形態が異なり、「茶道」および「華道」については少人数での実施が望ましいため、クラス編成をした上での授業となります。詳細は別途指示します。									
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数		講義内容					担当者		
1		本質のとらえ方 ; ・本質のとらえ方の体験学習・考え方のポイント(本質とは／中心とは／重点点とは)					古澤 敏昭		
2		問題点の発見と手法 ; ・各種の手法と考え方							
3		問題点のとらえ方 ; ・現状分析 ・あるべき姿(仮説の設定)							
4		・問題点の指摘(あるべき姿と現状分析によるギャップ)							
5		・改善方法により「ムダ・ムリ・ムラ」を意識する							
6		問題を改善するのは人である ; ・精神状態、考え方 ・生産性とは(精神状態／ヨーロッパ生産性機構)							
7		人間は考え方により行動がある ; ・人間性とは／社会貢献とは／創造とは／豊かな心とは／幸とは					看護教員		
8		人間関係／コミュニケーション ; ・報告、連絡、相談(ホウ、レン、ソウ) ・調和、啓発、創造 ・組織とは							
9		建学の精神と教育理念							
10		養成を目指す人材育成目標と教育目標							
11		広島都市学園大学の3つのポリシー							
12		【選択制】茶道(はじめに)・華道(生け花の成立)							
13		【選択制】茶道(茶道とのふれあい)・華道(華道が伝統文化として受け継いできたもの)					近藤 貞子/和田 宗汎		
14		【選択制】茶道(演習)・華道(現代の生活環境と生け花)							
15		【選択制】茶道(演習)・華道(現代の生活環境と生け花)							
成績評価方法									
レポート 日常態度。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者		出版社		ISBNコード			
参考書									
書名		著者		出版社		ISBNコード			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									
【和田】希望者には和風堂の見学をお勧めします(要予約)。※茶道(演習)の際には必ず白のソックスを持参する事。【近藤】植物をよく観察すること。									
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。									
「茶道」および「華道」については少人数での実施が望ましいため、クラス編成をした上での授業となります。詳細は別途指示します。									

授業科目名		基礎科学概論				科目コード	N22101
担当者		有田 正志				履修区分	必修
開講年次	1 年	開講期	前期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 今後学んでいく様々な科目を理解するのに必要とされる自然科学の基本を、生命科学の内容に触れながら学習していきます。							
(到達目標) 自然科学の基本である単位の理解と、測定・計算の方法を習得し、生命や人体の理解に必要な力を養います。さらに、現代の医療とどのように関連しているかも学びます。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業中の私語は禁止。話し合うべきところは指示します。電卓の持ち込みは可です。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	ガイダンス、単位・測定・計算の重要性					有田 正志	
2	生命と元素・化合物・イオン						
3	生命の特性						
4	生物の体と細胞						
5	生殖と遺伝						
6	エネルギー/電流						
7	生体電流/神経系						
8	物質量						
9	生命と有機物						
10	有機化合物の反応						
11	圧力と気体の性質						
12	溶液と濃度						
13	細胞と浸透圧						
14	酸と塩基						
15	血液とその働き						
成績評価方法							
対面講義の場合、期末試験を約 7 割、これに出席状況と毎回の課題提出状況を加味して評価します。 リモート講義の場合、期末試験を約 6 割、これに出席状況と毎回の課題提出状況を加味して評価します。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
楽しくわかる生物・化学・物理		岡田隆夫		羊土社			
わかる生物学		小野廣紀・内藤道孝		化学同人			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
配布するプリントで講義します。毎回課題を出しますのでしっかり復習して下さい。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名		生命と遺伝子(生命倫理学)				科目コード	N20103
担当者		田中 健				履修区分	必修
開講年次	1 年	開講期	後期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 人間の生のあり方は技術や制度の制約のもとにあるのと同時に、人と人との関係のあり方によっても影響されます。この状況は医療分野においても基本的には変わりません。 この講義では、「技術」、「制度」、「人と人との関係のあり方」の観点から、医療分野における倫理問題（善悪に関わる問題）について解説していきます。それらの背景には、人間が人間である以上避けられない、解決困難で普遍的な問題が横たわっていることが明らかになるでしょう。 (到達目標) ・医療分野における倫理問題の概要と、それに関してこれまでに蓄積されてきた議論を理解すること。 ・過去の議論を理解し吟味することによって、医療者として適切な倫理的判断（善悪に関わる判断）を下せるようになること。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
・他の受講者の迷惑となる行為(私語など)を禁止します。 ・課題の提出期限を厳守して下さい。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	倫理と生命倫理：法と倫理の違い、生命倫理の必要性					田中 健	
2	生殖技術(1)：技術の概要						
3	生殖技術(2)：問題点、規制のあり方						
4	人工妊娠中絶(1)：日本における制度の歴史						
5	人工妊娠中絶(2)：プロ・ライフ - 中絶に反対する立場の主張						
6	人工妊娠中絶(3)：プロ・チョイス - 中絶を認める立場の主張						
7	義務論と功利主義：善と悪をどのように線引きするのか						
8	脳死と臓器移植(1)：脳死とはどのような状態か						
9	脳死と臓器移植(2)：日本の脳死判定基準						
10	プライバシーと守秘義務						
11	インフォームド・コンセント：歴史的背景、患者と医療者との関係						
12	安楽死・尊厳死(1)：安楽死とはどのような行ないか						
13	安楽死・尊厳死(2)：死の自己決定 - 尊厳死とPAD						
14	QOL の概念						
15	「人間」とは－心身二元論とパーソン論						
成績評価方法							
定期試験 70%、提出課題（コメントペーパーの場合もあり）30%で評価します。 （定期試験が行われない場合には、提出課題のみで評価します） ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
なし							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
生命倫理学入門		今井道夫		産業図書		ISBN978-4-7828-0213-7 C3310	
マンガで学ぶ生命倫理		児玉聡ほか		化学同人		ISBN978-4-7598-1542-9 C0012	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
予習：授業終了前に、次回の授業までに考えておいてほしい問いを示します。常識の範囲で構わないので、答えを考えておいて下さい。 復習：授業で説明された論点を再確認して下さい。また、それについて「自分の考え(自分ならどう考えるか)」を整理して下さい。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
授業終了後に質問を受けます。また、オンライン授業がある場合には、ウェブ上で質問を受けることも可能です。							

授業科目名		ヒロシマのこころ(広島島の医療と健康)				科目コード	N20104
担当者		村木 士郎／古澤 敏昭他				履修区分	必修
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 被爆地広島市の被爆地の医療の歴史を振り返りながら、医学、看護学、リハビリテーション学などの関係学問領域を勉学する意義や実際に看護者としてこれらの学びを社会で活かすための方策について学修する。それぞれの領域の現場で活躍している医療人や患者さんの生の声を拝聴するとともに、原爆資料館や被爆証言などを現地で学ぶことにより、将来、医療人として活躍するためのより良い動機づけとなる。							
(到達目標) 1. 医療人としての心構えが理解できる 2. 人類を脅かす原子爆弾や放射線被曝について知ることができる 3. 患者を取り巻く他職種とのチームケア・連携の大切さが理解できる 4. ヒロシマの地で看護を学ぶ意義を知り理解することができる							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
講義内容により授業形態が異なります。指示を守って静かに受講してください。 なお、校外学習では規律を守り、看護学生としての品位を崩さないようにしてください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						担当者
1	ガイダンス・看護のこころ						村木士郎
2	医療管理者から看護学生に期待すること						浅原正利
3	医療者に託す思い～がん患者の立場から～						中川 圭
4	森林資源を活用した健康保持増進への取り組み						小林敏生
5	国際援助における医療						村木士郎
6	後遺症をもつ障害者の心理的回復過程について						宮崎洋幸
7	放射能の生物学的影響について						田丸 政男
8	原爆被爆体験(1)						古澤敏昭
9	原爆被爆体験(2)						古澤敏昭
10	学外学習						平、藤井、榊
11	・原爆資料館見学						
12	・被爆証言を聴く会						
13	・平和記念公園及び慰霊碑めぐり ・まとめ						
14	地域医療特別講座						外部講師
15	広島島の医療と健康						村木士郎
成績評価方法							
期末試験(60%)：全体の講義終了後レポート試験 レポート(40%)：毎回授業終了後400文字程度の感想文を提出 授業態度：特に態度が悪い場合は欠席扱いとします ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
各講義の内容がどのように「看護」に活かせるかを考えながら授業に臨んでください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
muraki@hcu.ac.jp (村木士郎)							

授業科目名		法と人権(憲法を含む)				科目コード	N12105
担当者		大田 晋				履修区分	選択
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
我われは、社会に生きている限り何らかのルールの中で生きている。そのルールこそが「法」であり、共通の約束事である。人権という「人としての権利、個人としての権利」を保障するための基本となる法は「憲法」である。講義では、はじめに法全般におけるものの考え方、体系、法および法律の基礎知識を学び、次にそれらの理解と知識のもとに、法体系の最高位にあって「人権＝基本的人権」を規定している「憲法」を詳しく学ぶ。							
(到達目標)							
人の命と生活に深く関わる医療専門職(医師、看護師、OT・PT など)は、職務を遂行するに当たって他の職業以上に法的責任を意識し、「人と人を分け隔てなく尊重する」という基本的心構えが求められる。法や法律は嫌いとか苦手という先入観から脱却し、社会人としてさらに医療専門職として自分の行動の法的意味(責務)を考えることのできる人に成長して欲しい。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
配布する講義レジュメプリントをもとに自分でノートを作成することを履修・受講の条件とする。 A4 サイズのノートを用意し、左ページに講義プリントを貼り、右ページにノートを取る。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						担当者
1	講義のイントロ(講義の概要、講義の狙いと目標、講義の進め方、ノートの作り方など)						大田 晋
2	「法」とはなにか～法の意味・役割、法と社会・国家、法と人権						
3	法の分類と体系						
4	法と社会(国民生活)						
5	刑法						
6	民法						
7	医療に関する法律						
8	憲法～概要、意味						
9	憲法～制定の歴史						
10	憲法～国民主権						
11	憲法～基本的人権(その1)						
12	憲法～基本的人権(その2)						
13	憲法～平和主義(戦争放棄)						
14	憲法～国家統治機構(その1)						
15	憲法～国家統治機構(その2)						
成績評価方法							
期末試験							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
『日本国憲法』条文集				童話屋		978-4-88747-014-9	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
『医療・福祉を学ぶ人のための法学入門』		久塚純一ほか		法律文化社		978-4-589-03413-7	
『目で見える憲法』		初宿正典ほか。		有斐閣		978-4-641-13104-0	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
選択科目であり、単位目当てでなく、法律・憲法に関心のある学生の受講を歓迎する。ノート作成と復習が極めて重要である。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
個別に質問を受ける。							

授業科目名		心理学				科目コード		N12106	
担当者		今井 裕介				履修区分		選択	
開講年次		1 年	開講期	前期	授業回数	15 回	単位数		2
授業の概要・到達目標									
(概要)									
心理学の基礎的な知識や理論、心理学の歴史、最新の知見等幅広く概説する。 自己理解、他者理解に必要な理論的知識について説明する。									
(到達目標)									
心理学の基礎的な知識や理論を習得する。 自己を理解すること、他者を理解することの理論・知識を習得する。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
講義内で課題を出します。それについて発表を行っていただきます。 授業中の私語は禁止します。携帯電話の使用は禁止します。配布資料について、予備の配布は行いませんので、紛失した場合、欠席した場合等は、各自の責任において、他の学生からコピー等をしてもらってください									
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容						担当者		
1	オリエンテーション・心理学とは						今井 裕介		
2	古典的条件づけについて								
3	オペラント条件付けについて								
4	感情について								
5	明るさと色の知覚・形と空間の知覚について								
6	注意と記憶について								
7	自己と他者のかかわり								
8	パーソナリティの分類・影響								
9	パーソナリティの形成・発達								
10	臨床心理学について(精神分析療法・クライエント中心療法)								
11	行動療法・認知行動療法について								
12	発達について								
13	思春期・青年期・成人期・老年期について								
14	心と脳								
15	まとめ								
成績評価方法									
期末試験 100%									
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者		出版社		ISBNコード			
心理学入門		板口典弘・相馬花恵		講談社		ISBN 978-4061548084			
参考書									
書名		著者		出版社		ISBNコード			
講義の内容に合わせ適宜紹介する									
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									
心理学は一般的なイメージとは異なる学問です。初めて聞く用語等も多いことが想定されます。わからない場合、自ら調べたり、質問してください。									
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。									
講義時間以外には在学していないため、質問や相談等は講義前後の空き時間や振り返りシートを活用してください。									

授業科目名		哲学				科目コード	N12107
担当教員名		中西 捷渡				科目区分	選択
開講年次	1年	開講期	後期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
授業の前半の回は哲学史を扱い、歴史上の著名な哲学者たちの思想を紹介することで、受講者が自分で哲学的問題を考える際の手がかりを提供する。授業の後半の回では、哲学の様々な論点を紹介するとともに、各回の論点についての受講者自身の見解を文章化してもらう。							
(到 達 目 標)							
哲学的問題を考えることを通して、日常で直面する様々な問題に対して、主張と適切な理由を組み合わせることで論証を提示することができるようになる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
毎回、その授業で扱う思想や問題に対する自分の見解をコメントしてもらう。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	導入と授業全体の予定						
2	哲学を掴むために:クリティカル・シンキングの技法						
3	古代の哲学者たち①:ソクラテス・プラトン						
4	古代の哲学者たち②:アリストテレス						
5	古代の哲学者たち③:エピクロス派・ストア派						
6	近代の哲学者たち①:カント						
7	近代の哲学者たち②:ベンサム・ミル						
8	哲学を発信するために:アカデミック・ライティングの技法						
9	哲学の論点①:法と道徳						
10	哲学の論点②:自由と責任						
11	哲学の論点③:正義						
12	哲学の論点④:幸福						
13	哲学の論点⑤:人生						
14	哲学の論点⑥:多元性						
15	授業全体のまとめ						
成 績 評 価 方 法							
授業内でのコメントシート 30%、期末試験 70%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
配布資料にて適宜紹介する							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
哲学の歴史は解決の積み重ねとは限らず、古い思想が最新の問題に有力な代案を提示する場合もある。予習・復習の際には、回の区別なく配付資料を横断的に参照することで理解を深めてもらいたい。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メールアドレス:katsuton.meson@gmail.com メールで連絡をとる場合、必ず大学・学科・学籍番号・氏名を明記する。							

授業科目名		社会と平和				科目コード		N12108	
担当者		堀内 喜代美				履修区分		選択	
開講年次		1 年	開講期	後期	授業回数	15 回	単位数		2
授業の概要・到達目標									
(概要) グローバル化が進む現代社会ではヒト・モノ・カネ・情報が国境を越えて移動します。そうした状況下において民主的で平和な社会を実現・維持していくためにはどのような認識や行動が必要か。社会のグローバル化に関わる様々な問題の学びを通して、持続可能な発展に向けて求められる社会の在り方や行動について考えていきます。 (到達目標) ・グローバル化社会が抱える課題を俯瞰的・客観的に捉えることができる。 ・様々な社会問題に関して背景を理解し、自分の意見を提示できる。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
各授業回の内容理解に努め、それを踏まえた上で授業課題では自分なりの意見を発信してください。 授業課題作成時には、関連するニュース記事などにも目を向け、自分の考えを深めてください。									
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容						担当者		
1	オリエンテーション						堀内 喜代美		
2	グローバル化とコロナ禍 ―コロナ禍における信頼と国際協調―								
3	グローバル化と留学生 ―日本における留学生政策―								
4	グローバル化と外国人労働者 ―看護・介護分野の外国人の受け入れ―								
5	異文化理解① ―日本人の異文化対応特性―								
6	異文化理解② ―異文化理解から多文化共生社会へ―								
7	SDGs を考える① ―SDGs の基礎知識―								
8	SDGs を考える② ―社会的拡大背景と取り組み事例―								
9	大学と社会① ―国際比較から見る日本の大学―								
10	大学と社会② ―大学の公共性: 大学は公共財か?―								
11	アメリカ社会と平和① ―BLM 運動から見る黒人差別問題―								
12	アメリカ社会と平和② ―日系移民の歴史―								
13	国内の人種差別問題 ―大学スポーツの外国人選手―								
14	多様性と社会の包摂 ―ダイバーシティとインクルージョン―								
15	民主主義社会と平和								
成績評価方法									
各授業回(第2回～第14回)で課す授業課題のリアクションペーパー(計65%)と最終レポート(35%)を総合的に評価する。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者		出版社		ISBNコード			
なし									
参考書									
書名		著者		出版社		ISBNコード			
移民と日本社会		永吉希久子		中公新書		978-4121025807			
アメリカの大学・ニッポンの大学		苅谷剛彦		中公新書ラクレ		978-4121504296			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									
現代の日本や外国の社会において起こっている事件や現象についてのニュースを新聞等で読み、自分なりの考えを持つようにしてください。情報に対する感度を高めることは、多様性を受け入れる価値観を身につけることにも繋がります。									
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。									
メールで連絡を取ってください。メールアドレスは初回授業で提示します。									

授業科目名		教育概論				科目コード	N12109
担当者		深澤 悦子				履修区分	選択
開講年次	1 年	開講期	後期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 「教えること」と「学ぶこと」とは何かについて、教育思想史をふまえながら教育の原理的・歴史的な理解を求め、人間の成長と家庭教育、学校教育、社会教育についての特徴と本質の基本的な知識を学び、理解する。その際、「臨床の知」からの視点をふまえながら、「教えること」と「学ぶこと」について考察する。							
(到達目標) 基礎的な教育学の知見を理解し、それらをもとに教育的事象について自分のことばで説明できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
・スマートフォンは、言葉の検索、調べ学習においてのみ使用場合があります。指示がない限り、カバンの中へ保管してください。 ・授業中は、自分の考えや意見を発言しましょう。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	オリエンテーション					深澤 悦子	
2	教育の必要性、まなざしの教育的意義						
3	子どもの育ち・家庭教育						
4	近代学校の成立と歴史的展開(1)						
5	近代学校の成立と歴史的展開(2)						
6	教育課程						
7	学校指導要領の変遷						
8	授業構成の原理						
9	教育的タクト						
10	生活指導						
11	特別支援授業の動向						
12	評価について						
13	生涯学習						
14	教師の専門性						
15	まとめ「教授の知」と「臨床の知」						
成績評価方法							
期末試験 60% 提出物 40%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
・復習は、毎回、配布する講義資料を読み返したり、講義をふり返り、ノートをまとめていきましょう。 講義資料とノートは、1冊のファイルにまとめ、オリジナルの教科書としてまとめましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
必要な場合は、教務課をとおして、連絡してください。							

授業科目名		比較文化論				科目コード	N12110
担当者		浮田 三郎				履修区分	選択
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
近年、人、物、情報の交流が活発になり、民族・言語・文化的背景を異にする世界の人々がともに社会生活を営むようになりました。このような時代にあつて、世界の異なる文化的事情や背景について学び、相互交流や異文化交流のために必要な知識を学修します。また、文化の多様性や身体・病気・生死についての見方についての理解を深めます。							
(到達目標)							
民族・言語・文化的背景を異にする世界の人々の社会生活を概観し、それらの異同を理解し、異文化間の相互交流や多文化共生のために必要な知識と能力を修得する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
テキストは各自用意してください。必要な資料は配付します。授業中の私語は禁止。携帯電話の使用は禁止します。授業の内容を理解し、自分の意見も述べてみましょう。毎回出席を取ります。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があつた上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						担当者
1	ガイダンス 文化の多様性と多文化共生						浮田 三郎
2	世界の人々との交流						
3	世界の食事の味						
4	世界の食事の習慣、飲食の制限						
5	世界の住まいとトイレ						
6	服装が人を表す						
7	制限だらけの世界の結婚						
8	世界の結婚と家族						
9	世界のカレンダー						
10	世界の街の習慣、制限と罰金						
11	世界のビジネスマンたち						
12	世界のスポーツと娯楽						
13	各国の公共制度、平等と不平等						
14	世界の教育事情						
15	世界の病気観と生死観						
成績評価方法							
期末試験(テキスト持ち込み可)と小レポートの結果、出席と教室での質疑応答も考慮します。(具体的な評価方法は授業開始時に説明)							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
対訳 英語で比べる「世界の常識」		足立 恵子		講談社 BB		4-7700-2346-4	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
対訳 誤解される日本		賀川 洋		PHP 新書		978-4-569-77302-5	
参考になる Web ページなど							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
テキストの日本語の方を利用します。予習として、テキストに目を通しておきます。							
日常の世界のニュースや映画などを見る時に、異文化理解という観点からも考えてみるようにします。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
Mail : ukida@hiroshima-u.ac.jp							

授業科目名		医療経済政策論				科目コード		N12111	
担当者		鈴木 誠志(Suzuki Satoshi)				履修区分		選択	
開講年次		2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数		2
授業の概要・到達目標									
(概要) 日本の医療制度は高齢社会を迎えて、大きな転換期にある。「いつでも、どこでも、誰でもが安心して医療をうけられる」という目標の実現が、高齢化と低成長経済の下で困難となっているからである。医療サービス自体も公平と効率の観点から医療制度に関わる「人」「物」「金」のすべてにおいて、その改革が迫られている。本講義では、日本の医療制度について、経済学的な視点から概観する。医療サービスの特性を踏まえ、どのような規制や制度が必要とされており、なぜ各国において医療制度に違いがあるか等の問題について経済学の視点から学ぶ。									
(到達目標) 医療に関する問題を経済学的な視点で捉え、考えることができる。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業期間中に4回程度、小テストやレポート提出があります。また、学期末に期末試験を実施します。成績評価は、これらを総合して行いますので、毎回の授業への出席はもちろんですが、授業後の自宅での復習を習慣づけてください。									
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容								担当者
1	授業の紹介								鈴木 誠志
2	経済学的な考え方について(1) アサインメント等:ノートの整理、授業内容の復習(120分)								
3	経済学的な考え方について(2) アサインメント等:ノートの整理、授業内容の復習(120分)								
4	需要曲線と供給曲線 アサインメント等:小テストの準備(120分)								
5	市場と市場の分類、小テスト① アサインメント等:ノートの整理、授業内容の復習(120分)								
6	市場の価格調整メカニズムについて アサインメント等:ノートの整理、授業内容の復習(120分)								
7	経済実験―市場取引について― アサインメント等:ノートの整理、授業内容の復習(120分)								
8	需要・供給分析 レポート課題 アサインメント等:レポート作成(120分)								
9	消費者余剰と生産者余剰 アサインメント等:小テストの準備(120分)								
10	不完全競争市場、小テスト② アサインメント等:ノートの整理、授業内容の復習(120分)								
11	情報の非対称性 アサインメント等:ノートの整理、授業内容の復習(120分)								
12	医療サービスの需要 アサインメント等:ノートの整理、授業内容の復習(120分)								
13	医療サービスの供給 アサインメント等:小テストの準備(120分)								
14	医療サービス市場、小テスト③ アサインメント等:ノートの整理、授業内容の復習(120分)								
15	まとめ アサインメント等:単位習得試験の準備(120分)								
成績評価方法									
授業期間中に実施する小テスト及びレポート(計4回程度):40% 期末試験:60% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者		出版社		ISBNコード			
※使用しません									
参考書									
書名		著者		出版社		ISBNコード			
※講義の中で適宜紹介します									
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									
講義では、丁寧な解説を心がけています。板書することが多いですので、板書したことをしっかりとノートにとり、復習をすることで学んだ知識を理解するだけでなく、身につけることが大切です。									
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。									
E-mail アドレス:jimu2@hcu.ac.jp									

授業科目名	医療と食					科目コード	N12112
担当者	村本 圭子/三好 真理					履修区分	選択
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)人間が生きていくうえで必要不可欠な「食」には、健康を害する問題点も今日、多く挙げられる。本講義では保険・医療・福祉の担い手である医療識者として、医療を支える「食」のあるべき姿や正しい知識を学修する。本学の精神「心技一体」を実践するためにも、先人たちの残した食文化やこれからの子供たちを育む食育を学び、自らの資質を高めることは重要である。自らの健康を支える「食」を実践しつつ、医療の現場で活用できる内容を学ぶ。 11～15 週は、微生物と医療について講述。生活の中の微生物から病原微生物までの概略と、各自の健康管理、医療現場での衛生管理の大切さについて述べる。							
(到達目標)							
食文化、「食」の本来の役割、微生物との関わりなどを、医療現場で活用できる知識を学修し、実践する力をつける。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
1.授業中の私語は禁止 2.携帯電話は使用禁止 3.毎回の配付資料は必ず持ち帰り、ファイルすること(欠席する場合は他の学生に頼むこと) 4.ファイルした資料は毎回授業に持参すること 5.日常生活全般に目を向け、特に「食物」「食べる」に興味を持つことが望ましい。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						担当者
1	人類は何を食べて生きてきたのか? (何の為に食べるのか? 食べる方法、食物禁忌)						村本 圭子
2	平均寿命世界一、日本人の食事は? (日本料理の変遷①:原始から室町時代)						
3	健康寿命はなぜ、イマイチなのか? (日本料理の変遷②:安土・桃山から江戸時代)						
4	西洋料理の変遷(上) (テーブルマナーの歴史)						
5	西洋料理の変遷(下) (スローフードの意義や現代の取り組み)						
6	健康志向の中国料理の変遷(上) (医食同源、陰陽道)						
7	おいしく食べる中国料理の変遷(下) (宮廷料理、現代の中国料理系統)						
8	食卓の変化の影響はどこに? (食育について、日本の食糧事情、食の安全)						
9	おいしい病院食とは (病院食の概要、食物アレルギーについて)						
10	生活習慣病予防と食事のポイント (食事療法の概要、バランスの良い食事とは)						
11	食と医療と微生物						三好 真理
12	微生物からみた食の安全と医療						
13	感染症と付き合うための基礎知識						
14	感染症予防のための消毒・殺菌の基礎						
15	医療現場で注意をしたい衛生管理						
成績評価方法							
期末試験 50%、レポート 20%、(1～10週の内容) 授業内ワークシート 30%(11～15週) ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
講義では、概略になりますので、興味のある分野については、さらに内容を掘り下げて学習されることをお勧めします。 「食」に関する情報に日頃から関心を持ち、学習に生かされることをお勧めします。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
教務課に連絡してください。							

授業科目名		ボランティア論				科目コード	N12113
担 当 者		上田 英司				履 修 区 分	選択
開 講 年 次	1 年	開 講 期	後期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要) ボランティアについての概論を知ってもらい、具体的なボランティアの実例について紹介する。体育館を使用した体験型の講義を実施する。障がい者を疑似体験する機会を作り考える機会を提供する。ボランティアの具体例を紹介し、参加する意欲・知識を学ぶ。							
(到 達 目 標) ① 自ら考えて行動し、何らかのボランティアに参加できる。 ② ボランティア経験を将来の職業・社会人としての成長に役立てられる能力を身につける。 ③ 活動をすることにより「楽しい」と思える経験の場であることを理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど) 出席を重視するので、遅刻、早退、授業中の退出等については厳しく注意する。飲食物を机の上に置かない。その他、具体的な注意事項に関しては、初回授業時に伝達する。授業終了前に小テストを行います(出席を兼ねます)。 教員の都合により、順番が前後することがある。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容					担 当 者	
1	ボランティアの活動と定義					上田 英司	
2	ボランティアのメリットとデメリット						
3	ボランティアの探し方と注意点						
4	ボランティアの形態						
5	ボランティア団体の設立						
6	ソーシャルビジネス						
7	パラスポーツとボランティア(パラセーリングとボッチャ競技のサポート)						
8	ボランティア実習(ボッチャ)						
9	ボランティア実習(※未定。パラスポーツを体験)						
10	コメディカルとしての災害ボランティア(概論)						
11	コメディカルとしての災害ボランティア(被災者の実情)						
12	ボランティア実習(車いすバスケ)						
13	ボランティア実習(フライングディスク)						
14	海外(ドイツ)のボランティア						
15	SDGsとボランティア						
成 績 評 価 方 法							
出席日数 60%及び各授業中でおこなう小記述レポートの内容 40%で評価します。 (具体的な評価方法は授業開始時に説明) ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
なし							
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
なし							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
日々の生活の中でボランティア的行動を実行してみる。 積極的に、ボランティア活動に参加して、友人と体験を共有し、地域社会の問題点を考えてみる。 短時間で問題を解決する手段を経験する。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
教務課に連絡してください。							

授業科目名		発達心理学				科目コード		N22102	
担当者		生和 秀敏				履修区分		選択	
開講年次		2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数		2
授業の概要・到達目標									
(概要) 生涯発達という観点から、発達を規定する要因、発達に伴う心理的諸機能の特徴、対処すべき発達課題などについての理解を深め、発達段階の異なる人々に対する支援の仕方を考えることを授業の目的としている。 (到達目標) (1)発達を規定する要因と各発達段階の心理的特徴が理解できること。 (2)年齢の異なる人々に対する支援方法を考えることができること									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
私語、携帯電話の使用は禁止するが、講義中でも質問は随時受け付ける。 シラバスに従って授業を行うので、テキストを読み、問題点・疑問点を整理しておくこと。									
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数		講義内容						担当者	
1		発達心理学とは何か						生和 秀敏	
2		心の科学としての心理学							
3		発達を規定するもの							
4		経験と学習							
5		発達の諸相							
6		意見交換(グループ・ワーク)							
7		心理的活動の特徴(1)							
8		心理的活動の特徴(2)							
9		心理的活動の特徴(3)							
10		心と行動の病理(1)							
11		心と行動の病理(2)							
12		心と行動の病理(3)							
13		心理的支援(1)							
14		心理的支援(2)							
15		意見交換(グループ・ワーク)							
成績評価方法									
期末に行う試験とグループ・ワークへの参加の程度をもとに評価する ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者		出版社		ISBNコード			
教科書は使わない									
参考書									
書名		著者		出版社		ISBNコード			
医療における人の心理と行動		生和秀敏・井内康輝編		培風館		978-4563057039			
心の科学		生和秀敏編		北大路書房		978-4762823114			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									
○授業は担当教員作成の簡易テキストに従って行う。 テキストは授業開始時に配布するが、製本していないので、各自で穴あきファイルに綴じ込み、授業の際には毎週必ず持参すること。。 ○意見交換(グループ・ワーク)では、テーマについてグループで意見交換し、その結果を全体に発表するという形式をとる。 ○授業中に紹介する図書は可能な限り読むことを期待する。 ○覚えることも大切だが、それ以上に重要なことは、自分で考えることである。									
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。									
各回の授業終了後に個人的な相談に応じる予定である									

授業科目名	キャリア教育入門(仕事と職業)					科目コード	N22103
担当者	三島 真由美					履修区分	選択
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	8回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)多様な働き方がある現代、仕事や職業の在り様について考えます。また、社会における一般的なキャリアについて理解し、人が働くということとはどのような意義があるか、さらに生活と仕事(職業)について考える。							
(到達目標)							
1.働くことの意義(意味)は何か述べることができる。							
2.キャリアの考え方が理解できる。							
3.自己のキャリアについて考えられる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
一般的な考え方の理解の上で、意見交換を行います。自分の考えを伝えることを心掛けて下さい。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	なぜ、人は働くのか ― 働くことと働かないことで得るもの・失うもの ―					三島	
2	働くための環境要件 ― 職場環境・関係法令・支援策など ―						
3	職業と仕事(職業選択、社会のニーズと仕事)						
4	キャリア発達 ― キャリアは何歳までつづくのか ―						
5	成長発達と役割 ― ライフステージとキャリア、働くための準備 ―						
6	職業人としてのキャリア、昇進と昇格、						
7	人生100年時代とキャリア、個人のキャリア開発						
8	自分が目指す働き方						
成績評価方法							
1.講義レポート 50% 2.最終レポート 50%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
使用しません							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
授業の中で紹介します							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
特にありません。講義中に意見や質問を聞きます。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
質問・意見等は、原則、講義の時間、又は終了時に受けます。事情がある場合は、別日に計画します。							
その他、C-ラーニングで送ってください。							

授業科目名	医療環境と工学				科目コード	N22104	
担当者	加藤 みわ子				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	8回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 人の健康に及ぼす環境要因には物理的要因・科学的要因・生物学的要因がある。本講義では先ず予備知識として高校までの生物学・化学・物理学についての基本的な知識を整理する。そして、人々が入院している施設の医療環境について考えてみる。具体的には、普段は目にしない医療機器や、それらの音などによる影響を受ける入院生活の場の環境に目を向ける。また、様々な医用電子機器(ME機器)・システムの原理について学ぶ。							
(到達目標) 医療に必要な学問的な理屈を理解し、多角的な視点で看護手技の実際について考えることができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
必ず講義を聴くこと。私語や他ごとに興じている者、寝ている者は欠席扱いとする。 授業の途中で、課題や小テストを行う場合があり、この課題・小テストも平常点の評価対象となる。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	身体ケアに関する物理学の基礎					加藤 みわ子	
2	身体ケアに関する物理学 各論(1):体位変換と骨折						
3	身体ケアに関する物理学 各論(2):ボディーメカニクス						
4	身体ケアに関する物理生理学の基礎						
5	身体ケアに関する物理生理学 各論:体温管理とエネルギー伝達						
6	検査・治療・処置に関する化学の基礎						
7	検査・治療・処置に関する物理化学 各論(1):点滴と濃度管理						
8	検査・治療・処置に関する物理化学 各論(2):音波と聴力測定						
成績評価方法							
期末試験・・・70%、小テスト。課題など・・・30% 小テストなどの実施回数により、評価の割合を増減することもある ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
[完全版]ベッドサイドを科学する 改訂第4版 一看護に生かす物理学―		平田雅子		学研メディカル秀潤社		978-4-7809-1456-6	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
期末試験はプリントに記載した事項だけでなく、授業中に解説した内容も含まれるので、毎回講義の後にプリント、ノートをきちんと整理しておく必要がある。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
質問は歓迎します。ただし宇品キャンパスに居る日・時間が限られるので、授業時間やその前後を利用するか、予めアポイントメントを取るようになって下さい。掲示板で連絡することもあるので留意のこと。 Eメールアドレス:katomiwa@hcu.ac.jp							

授業科目名	コミュニケーション技法Ⅰ			科目コード	N22105	
担当者	古澤 敏昭ほか全専任教員			履修区分	必修	
開講年次	1年前期	開講期	5月26日(金)～5月28日(日)		単位数	1
授業の概要・到達目標						
(概要) 本学園の沿革、建学の精神、理念などを学ぶとともに、入学後の早い段階で知的活動への動機づけを高め、科学的な思考法と適切な自己表現能力(スタディ・スキル)を身に付けさせる。また、人間としての基本的な生活習慣の形成や幅広い人間関係のあり方を学ぶとともに、学習者としてのマナー、医療従事者を目指す学生として、コミュニケーションの大切さ、人への思いやり、人間愛、責任感、行動力などのソーシャル・スキルについて学修する。 なお、授業は、集中講義によって行い、学生参加型とする。						
(到達目標) 1. 大学生としてのモラルの向上や自己実現を図るための学習姿勢を身につけることができる。 2. ディスカッション等において、積極的にわかりやすく意見を述べることができる。 3. グループメンバーの意見を尊重し、円滑なチームワークづくりに貢献できる。 4. 本授業での学びを考察し、他者に意見を論理的に述べることができる。						
履修における注意事項(受講ルールなど)						
別途提示						
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。						
スケジュールおよび研修内容						
配布資料参照						
成績評価方法						
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
参考書						
書名		著者	出版社	ISBNコード		
大学学びのことはじめ		佐藤友昭他編	ナカニシヤ出版	978-4-7795-0838-7		
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。						
WEB掲示板により担当教員から連絡があります。掲示板のチェックをすること。						

授業科目名		コミュニケーション技法Ⅱ		科目コード	N22106
担当者		古澤 敏昭ほか全専任教員		履修区分	必修
開講年次	2年前期	開講期	5月26日(金)～5月28日(日)	単位数	1
授業の概要・到達目標					
(概要) 本学園の沿革、建学の精神、理念などを学ぶとともに、入学後の早い段階で知的活動への動機づけを高め、科学的な思考法と適切な自己表現能力(スタディ・スキル)を身に付けさせる。また、人間としての基本的な生活習慣の形成や幅広い人間関係のあり方を学ぶとともに、学習者としてのマナー、医療従事者を目指す学生として、コミュニケーションの大切さ、人への思いやり、人間愛、責任感、行動力などのソーシャル・スキルについて学修する。 なお、授業は、集中講義によって行い、学生参加型とする。					
(到達目標) 1. 大学生としてのモラルの向上や自己実現を図るための学習姿勢を身につけることができる。 2. ディスカッション等において、積極的にわかりやすく意見を述べることができる。 3. グループメンバーの意見を尊重し、円滑なチームワークづくりに貢献できる。 4. 本授業での学びを考察し、他者に意見を論理的に述べることができる。					
履修における注意事項(受講ルールなど)					
別途提示					
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。					
スケジュールおよび研修内容					
配布資料参照					
成績評価方法					
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。					
参考書					
書名		著者	出版社	ISBNコード	
大学学びのことはじめ		佐藤友昭他編	ナカニシヤ出版	978-4-7795-0838-7	
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。					
WEB掲示板により担当教員から連絡があります。掲示板のチェックをすること。					

授業科目名	英語ⅠA(読解中心)					科目コード	N12116
担当者	竹内 孝美					履修区分	必修
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 高校までに修得した英語の基礎学力の確認と充実をはかる。英語の技能のうち特にリーディングに焦点を当て早く正確にまとまった英文を理解するための具体的なスキルの習得と一定のレベルの語彙力を養成する。また、医学用語、看護用語を正しく理解し、基礎的な医療英語を身に着けるための演習を行う。							
(到達目標) 1. 医療に関する英文を読むことを通して、看護の世界における視野が広がるようになる。 2. それぞれの英文の要点をつかみ概要を理解できるようになる。 3. 医療英単語の意味の理解と暗記を行う事で、まとまった英文理解が決められた時間内に行うことが出来るようになる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業中の私語、携帯電話使用は禁止。欠席した場合は各自責任を持ってプリント等資料を時間の授業まで用意しておくこと。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	Introduction					竹内 孝美	
2	Unit 1 Power of Language						
3	Unit 1 Power of Language Message from Dr. Hinohara						
4	Unit 2 Don't worry Giving encouragement						
5	Unit 2 Don't worry						
6	Unit 3 How may I help you? Helping with registration at hospital						
7	Unit 3 How may I help you? “ I am Motther Teresa ”						
8	Unit 4 How are you feeling?						
9	Unit 4 How are you feeling? “ Talking about your pain “						
10	Unit 5 Could you fill in this medical questionnaire?						
11	Unit 5 Could you fill in this medical questionnaire?						
12	Unit 6 Take the elevator, please						
13	Unit 6 Take the elevator, please “ A nurse on Mars? Why not? “						
14	Unit 7 What are your symptoms?						
15	Unit 7 What are your symptoms? “Nurses know”						
成績評価方法							
期末試験（60％）積極的授業参加（小テスト、提出物を含む）（40％） ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
LIFESAVER Basic English in Medical Situations		Maki Inoue Toshiya Sato		Cengage		9784863123663	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
積極的な授業参加を期待します。指定された予習箇所、各単元の復習テストの準備にしっかりと時間をかけて下さい。 プリント学習を行います							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名	英語 I B(表現中心)					科目コード	N12120
担当者	竹内 孝美					履修区分	必修
開講年次	1 年	開講期	後期	授業回数	15 回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 英語技能のうち特にスピーキングとリスニングに焦点を当て、様々なアクティビティを通して医療現場での十分なコミュニケーションが取れる能力を身につける。早く正確にまとまった英文が理解出来るようになるための具体的なスキルの修得と一定のレベルの語彙力を養成する。							
(到達目標) 1. 診療科名、人体各部の名称、症状、手術、検査、薬の説明などが全て英語で言える。 2. 英語で質問しながら、診療申込書の記入が患者に代わって出来る。 3. 英語での患者と医師の会話が理解出来る。 4. 入院患者に病院案内、規則などの説明が英語で出来る。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業中の私語、携帯電話使用は禁止。欠席した場合は各自責任を持ってプリント等資料を時間の授業まで用意しておくこと							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	Introduction					竹内 孝美	
2	Unit 8 Where does it hurt?						
3	Unit 9 How long have you had these symptoms?						
4	Unit 9 How long have you had these symptoms?						
5	Unit 10 I'm going to take a blood sample						
6	Unit 10 I'm going to take a blood sample						
7	Unit 11 Let me take your vital signs						
8	Unit 11 Let me take your vital signs						
9	Unit 12 Your surgery will be tomorrow						
10	Unit 12 Your surgery will be tomorrow						
11	Unit 13 There are three kinds of medicine						
12	Unit 13 There are three kinds of medicine						
13	Unit 14 Are you worried about anything?						
14	Unit 14 Are you worried about anything?						
15	Unit 15 It's time to be discharged						
成績評価方法							
期末試験（60%）積極的授業参加（小テスト、提出物を含む）（40%） ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
LIFESAVER Basic English in Medical Situations		Maki Inoue Toshiya Sato		Cengage		9784863123663	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
積極的な授業参加を期待します。指定された予習箇所、各単元の復習テストの準備にしっかりと時間をかけて下さい。 プリント学習を行います。また、授業中でのスピーキングも評価に組み入れますのでしっかりと行って下さい。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名	英語ⅡA(読解中心)				科目コード	N12124	
担当者	レイハーモシーラ 恵玲美				履修区分	必修	
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) Swedenの学校で働いているロッタと、日本の看護学生の Hana が、お互いの医療体制や生活の仕方などを e-mail で紹介し合うという内容のテキストを読みながら、英語の理解力や communication 力を養います。 また、現在ますます看護職に必要とされてきている、多文化への理解と対応力もつけていきます。							
(到達目標) 1、医療英語の用語や表現を習得する。 2、多様な医療・教育体制、文化、健康に対する考え方などに触れることによって、日本の医療体制や文化や価値観、そして自分の看護観について、広い視野で考察することができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	Introduction					レイハーモシーラ 恵玲美	
2	Chapter 1 – Story A						
3	Chapter 1 – Story B						
4	Exercises						
5	Chapter 2 – Story A						
6	Chapter 2 – Story B						
7	Exercises						
8	Chapter 3 – Story A						
9	Chapter 3 – Story B						
10	Exercises						
11	Chapter 4 – Story A						
12	Chapter 4 – Story B						
13	Exercises						
14	Chapter 5 – Story A						
15	Chapter 5 – Story B						
成績評価方法							
期末試験を60%、毎回の講義への参加状況(指示に従った読み書き、発音練習、提出物など)を40%として総合的に評価します。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としません。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
ロッタとハナの楽しい基本看護英語		迫 和子+Jane Harland		医学書院		978-4-260-01410-6	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
適宜紹介します。							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
英語を身に着けたいと思われるかたは、英語の時間だけではなくて、日頃から英語に触れる機会を持つようにすると良いと思います。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
講義終了時にご質問ください。							

授業科目名	英語ⅡB(表現中心)				科目コード	N12128	
担 当 者	レイハーモシーラ 恵玲美				履 修 区 分	必修	
開 講 年 次	2 年	開 講 期	後期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要) Sweden の学校で働いているロッタと、日本の看護学生の Hana が、お互いの医療体制や生活の仕方などを e-mail で紹介し合うという内容のテキストを読みながら、英語の理解力や communication 力を養います。 また、現在ますます看護職に必要とされてきている、多文化への理解と対応力もつけていきます。							
(到 達 目 標) 1、医療英語の用語や表現を習得する。 2、多様な医療・教育体制、文化、健康に対する考え方などに触れることによって、日本の医療体制や文化や価値観、そして自分の看護観について、広い視野で考察することができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
前期に続いて、テキストを中心に、英語だけでなくいろいろな文化や価値観に触れて、自分の価値観や看護観を再認識していきましょう。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容					担 当 者	
1	Talk about Summer Holiday					レイハーモシーラ 恵玲美	
2	Chapter 6－ Story A						
3	Chapter 6－ Story B						
4	Exercises						
5	Chapter 7－ Story A						
6	Chapter 7－ Story B						
7	Exercises						
8	Chapter 8－ Story A						
9	Chapter 8－ Story B						
10	Exercises						
11	Chapter 9－ Story A						
12	Chapter 9－ Story B						
13	Exercises						
14	Chapter 10－ Story A						
15	Chapter 10－ Story B						
成 績 評 価 方 法							
期末試験を60％、毎回の講義への参加状況（指示に従った読み書き、発音練習、提出物など）を40％として総合的に評価します。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
ロッタとハナの楽しい基本看護英語		迫 和子＋Jane Harland		医学書院		978-4-260-01410-6	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
適宜紹介します。							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
英語を身に着けたいと思われるかたは、英語の時間だけではなくて、日頃から英語に触れる機会を持つようにすると良いと思います。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
講義終了時にご質問ください。							

授業科目名		文章表現法				科目コード	N12132
担当者		山本 直子				履修区分	選択
開講年次	1 年	開講期	前期	授業回数	15 回	単位数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
いろいろな種類の文章を聴き取り、または読み取って、問われたテーマについて書いていく。その練習を重ねることで、目的に合った文章を書くための基礎知識や技術を習得する。							
(到 達 目 標)							
文章で問われていること、相手が話したことを正確に把握し、相手に内容が正しく伝わる文章を書くことができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
課題の提出期限は厳守。 講義内容に関する課題又はコメントを毎回提出することで出席とみなす。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容					担 当 者	
1	オリエンテーション					山本 直子	
2	表現してみよう						
3	文章の基本①						
4	文章の基本②						
5	ことばについて表現してみよう① お勧めの本の紹介						
6	ことばについて表現してみよう②						
7	ことばについて表現してみよう③						
8	看護系論文を読む①						
9	看護系論文を読む②						
10	看護系論文を読む③						
11	相手に伝えるための表現①						
12	相手に伝えるための表現②						
13	問われたテーマについて書いてみよう①						
14	問われたテーマについて書いてみよう②						
15	まとめ						
成 績 評 価 方 法							
講義内課題（毎回の提出物含む）50 パーセント、期末試験 50 パーセント。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
テキストは使用せず毎回資料を配布します							
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
適宜紹介します							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
心が動いたこと、世の中のことについて、本を読み、他人の意見を聞き、自分の考えを表現できるように、日頃から関心を持って日々を過ごしてください。 実際に頭と手を使って書く練習を積むことで文章表現は上達していきます。焦らず、侮らず、諦めず。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
講義終了後のコメントシートに書くか、直接連絡してください。							

授業科目名	中国語入門					科目コード	N12133
担当者	范 叔如					履修区分	選択
開講年次	1 年	開講期	前期	授業回数	15 回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 中国語の発音及び基本的な文法事項を習得し、中国語の基礎学力を養成する。 初歩的な文法を詳しく説明し、テープ・ビデオの利用により、発音をマスターする。							
(到達目標) ローマ字による発音の方法やこつと簡単な会話が出来るように。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
積極的に授業に参加する事、必ずテキストを持つとノートを取る事、無断に欠席しない事。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	学習の概略説明と使用テキスト・辞書の紹介。中国・中国語についての簡単な説明					范 叔如	
2	発音 1 声調、単母音と複母音、練習課題						
3	発音 2 子音 ① 無気音と有気音と練習課題						
4	子音 ②そり舌音と練習課題						
5	発音3 鼻音を伴う母音と練習課題						
6	声調の組み合わせ、変調と簡単な挨拶表現と練習課題						
7	人称代名詞、動詞述語文、形容詞述語文、副詞と練習課題						
8	本文、会話と「聞く、書く、話す」と練習課題						
9	指示代名詞と疑問詞疑問文と練習課題						
10	反復疑問文 存在を表す“在”と練習課題						
11	本文、会話と「聞く、書く、話す」と練習課題						
12	動詞 “有” と連動式文 練習課題						
13	介詞 “在” と “几” と “多少” 練習課題						
14	本文、会話と「聞く、書く、話す」 練習課題						
15	総復習と練習テスト						
成績評価方法							
毎回の練習課題の完成度で評価する。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない、							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
『友子の北京ライフ』		李志華・文南 著		白帝社		978-4-89174-905-7C0387	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
『はじめての中国語学習辞書』		相原茂編著		朝日出版社		9784255001135—C0587	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
1.テキスト中の cd を発音を聞く事。 2.本文と文法を復習する事。 3.宿題をしっかりと書く事。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
携帯電話 090-8065-4502							

授業科目名		韓国語入門				科目コード	N12134
担当者		李 賛任				履修区分	選択
開講年次	1 年	開講期	前期	授業回数	15 回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
（概要） 韓国語を初めて学ぶ受講生を対象に、韓国語の文字であるハングルからスタートし、ハングルが読めて書けるようにする。韓国語で自己紹介、買い物、お店での注文ができるようにする。また、語学だけではなく視聴覚教材を用いて「現代韓国事情」及び韓国の文化にも触れ、日・韓の価値観・文化の違いについても考えてみる。							
（到達目標） 韓国語の文字である「ハングル」の読み・書きと簡単なコミュニケーションができるようになる。また、現在の韓国の文化や韓国人の考え方に触れることによって異文化に対する理解を深める。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
はじめて接する外国語なので毎回きちんと出席し、学習に臨むことが望ましい。「携帯電話禁止」、「授業中の私語禁止」							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						担当者
1	韓国語の概略、ハングルの構成						李 賛任
2	母音文字						
3	母音・子音文字(1)						
4	母音・子音文字(2)						
5	終声子音(パッチム)						
6	発音規則及び簡単な表現						
7	挨拶表現						
8	基本文型「～は～です」、「～が～です」						
9	自己紹介の表現						
10	買い物の際に使われる表現						
11	DVD による韓国の文化紹介						
12	映画の中での実際の簡単な日常会話						
13	注文の際に使われる表現						
14	医療に関連する表現						
15	復習						
成績評価方法							
期末試験 40%、レポート 20%、授業内の参加及び授業態度 40% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
『韓国語入門』		朴大王・李賛任		白帝社		ISBN978-4-86398-130-0 C3887/2400E	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
『ソウルスタイル』		朴大王		白帝社		ISBN978-4-86398-129-4 C0026/1200E	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
「毎回の授業後、学習した内容を復習し、文字と単語をしっかりと暗記する」「習った語彙を生活の中で使ってみる」「K-POP の歌を覚えて韓国語で歌ってみる」「韓国のドラマを見ると、韓国語を意識しながら見る」							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名		英会話				科目コード		N22107	
担当者		レイハーモシーラ 恵玲美				履修区分		選択	
開講年次		2年	開講期	前期	授業回数	15回		単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)									
文法から入るのではなく、感覚から使ってみる、を目標に、ネイティブならではの言い回しに触れ、そこから、必要な文法を都度習得していくことで、文法にとらわれることなく、伝えたい事を伝える、コミュニケーションツールとして英語・英会話を学ぶ。									
(到達目標)									
1、伝えたい事を英語で伝えきる。									
2、わからない時に英語で質問する質問力を身につける。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容						担当者		
1	Introduction						レイハーモシーラ 恵玲美		
2	Chapter 1 (part1)								
3	Chapter 2 (part1)								
4	Chapter 3 (part1)								
5	Chapter 4 (part1)								
6	Chapter 5 (part1)								
7	Exercises								
8	Chapter 1 (part2)								
9	Chapter 2 (part2)								
10	Chapter 3 (part2)								
11	Chapter 4 (part2)								
12	Chapter 5 (part2)								
13	Exercises								
14	Part 1 revise								
15	Part 2 revise								
成績評価方法									
期末試験を60%、毎回の講義への参加状況(指示に従った読み書き、発音練習、提出物など)を40%として総合的に評価します。									
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者		出版社		ISBNコード			
ネイティブならそうは言わない日本人が習わない英語		デイビッド・セイン		ディスカヴァー・トゥエンティワン		ISBN 9784799310250			
参考書									
書名		著者		出版社		ISBNコード			
適宜紹介します。									
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									
英語はあくまでコミュニケーションツール。文法が間違っている、意志が伝わっていれば大丈夫です。間違えを恐れず、機会があれば、実際に使ってみることが、上達への近道です。									
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。									
講義終了時にご質問ください。									

授業科目名		スポーツ理論と実技				科目コード		N12135	
担当者		山口 浩二				履修区分		選択	
開講年次		1 年	開講期	後期	授業回数	15 回	単位数		2
授業の概要・到達目標									
(概要) 現代社会における健康・体力・運動の必要性について考え、メタボリックシンドローム予防に役立つ運動やスポーツ等の役割や効果について学ぶ。 球技やニュースポーツ、その他の体力を高めるための身近な運動について理解を深め、安全に実践するための知識や技術について学ぶ。									
(到達目標) 運動やスポーツのルールと技能について、また自分自身が運動やスポーツを安全に実施するための方法を説明することができる。 技術力の高低やスポーツの好き嫌いにとらわれず、自分の持っている能力をいかして、スポーツそのものを楽しむ工夫をし、活用できる。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
実技の場合は必ずジャージと体育館用シューズを着用して出席して下さい。それ以外での出席は認めません。講義では、資料を配布します。毎回テーマを設定し、授業内容に関するレポートを提出してもらいます。人に迷惑をかけないように、講義、実技とも私語、スマートフォンの使用、授業途中の入退室等は禁止です。ルールやマナーを守って主体的に取り組んで下さい。 ※受講者が多い場合は2クラスに分けることがあります。									
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容						担当者		
1	オリエンテーション～健康とは						山口 浩二		
2	運動やスポーツ（講義）								
3	スポーツの分類（講義）								
4	運動やスポーツの効果								
5	現代生活とスポーツ								
6	ウォーミングアップとクーリングダウン								
7	球技①（集団競技）								
8	球技②（個人競技）								
9	球技以外のスポーツ								
10	ニュースポーツ①								
11	ニュースポーツ②								
12	体力を高める運動①								
13	体力を高める運動②								
14	運動と安全								
15	現代生活とスポーツ、まとめ（講義）								
成績評価方法									
まとめのレポート 50%、授業内ワークシート（プリント）、課題レポート、小テスト（実技を含む） 50% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名			著者		出版社		ISBNコード		
参考書									
書名			著者		出版社		ISBNコード		
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									
自分の健康づくり、体力づくりにおいて、各自が目標を持って授業にのぞんでください。 運動やスポーツが苦手な人も楽しさやルールを知ることができるよう頑張りましょう。									
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。									